

令和 6 管理年度（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）すけとうだら太平洋系群 漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について（案）

令和 6 年 1 月
水 産 庁

1 TAC（案）

（1）設定の考え方

令和 2 年度に開催された資源管理方針に関する検討会での取りまとめを踏まえ、資源管理基本方針別紙 2－8 に定められた漁獲シナリオで算定された ABC（生物学的漁獲可能量）を TAC とする。

（2）資源管理基本方針別紙 2－8 の漁獲シナリオの概要

別紙 2－8 の漁獲シナリオに基づき、最大持続生産量を達成する漁獲圧力の水準に 0.9 を乗じた値により導かれる ABC を TAC とする。

（3）令和 6 管理年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）の TAC（案）

特定水産資源	TAC
すけとうだら太平洋系群	176,000 トン

（参考 1）別紙 2－8 の資源管理の目標及び漁獲シナリオ

すけとうだら太平洋系群

- (1) 目標管理基準値：228 千トン（最大持続生産量を達成するために必要な親魚量）
- (2) 限界管理基準値：151 千トン（親魚量の過去最小値）
- (3) 禁漁水準値：60 千トン（漁獲圧力を、最大持続生産量を達成する漁獲圧力に 0.8 を乗じた値に下げたとしても、10 年間漁獲し続けた場合に、目標管理基準値まで回復する確率が 50%を下回るおそれがある親魚量）
- (4) 令和 3 年から令和 5 年まで：漁獲可能量 17 万トン
- (5) 令和 6 年から令和 13 年まで：漁獲シナリオに用いる安全係数（ β ）：0.9

（参考 2）すけとうだら太平洋系群 TAC の推移

単位：トン

特定水産資源	R6 年 (案)	R5 年 (2023 年)	R4 年 (2022 年)	R3 年 (2021 年)	R2 年 (2020 年)
すけとうだら太平洋系群	176,000	170,000	170,000	170,000	143,000

(参考3) すけとうだら太平洋系群の漁獲実績

単位：トン

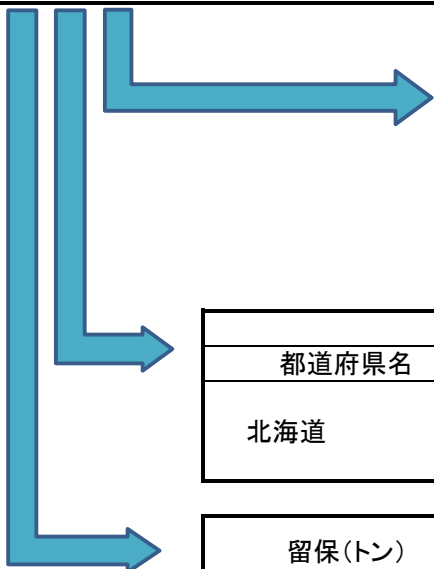
特定水産資源	R4 年 (2022 年)	R3 年 (2021 年)	R2 年 (2020 年)	R1 年 (2019 年)	H30 年 (2018 年)
すけとうだら太平洋系群	78,610	112,801	97,287	91,165	78,197

2 配分（案）

- (1) T A Cのうち、5,000 トンを国の留保とする。
- (2) 過去3か年（令和2年から令和4年まで）の漁獲実績の比率等に基づいて、大臣管理区分及び都道府県別に配分する。
- (3) 配分量は別紙のとおり。

令和6管理年度すけとうだら太平洋系群漁獲可能量(TAC)の設定及び配分について(案)

特定水産資源	TAC(トン)
すけとうだら太平洋系群	176,000



大臣管理分	
大臣管理区分	数量(トン)
沖合底びき網漁業	99,800

知事管理分		
都道府県名	数量(トン)	注記
北海道	69,100	青森県、岩手県、宮城県、茨城県については、現行水準とする。

留保(トン)	5,000
--------	-------